

## 第9回「富県宮城グランプリ」について

### 1 趣旨

富県宮城の実現に向けて、本県産業の発展、地域経済の活性化に対する貢献が顕著である企業、団体及び個人を称えることにより、富県共創への関心を高め、県民及び県内企業の主体的な取組を促進することを目的として、平成20年度に創設。（東日本大震災後、平成23年度から平成26年度まで休止したため、令和2年度は第9回となる。）

### 2 募集・選考

#### (1) 募集期間

令和2年9月1日（火）～令和2年10月31日（土）

#### (2) 選考方法

県内の市町村、企業・団体、地方振興事務所等による推薦（自薦を含む）のあった企業・団体（合計19件）から、県内の産学官の主要団体で構成する「富県宮城推進会議」幹事への意見聴取等を経て知事が決定。

#### (3) 表彰の区分

##### 【富県宮城グランプリ】

知事が、本県産業の発展、地域経済の活性化に最も貢献したと認めるもの。

##### 【ものづくり産業振興部門賞】

ものづくり産業分野において、品質や生産性の向上、新商品の開発、新たな市場への参入、事業の協業化などに取り組んでいる企業等であって、地域におけるものづくり産業の模範となるもの。

##### 【「みやぎの食」振興部門賞】

食産業分野において、6次産業化や高付加価値化、販路開拓などに取り組んでいる企業等であって、地域産業振興への貢献が顕著なもの。

##### 【地域産業革新部門賞】

産学連携による新技術の開発や、高度人材の育成・確保等、産業分野を問わず、革新的な手法により地域産業の模範となりえる成果をあげているもの。

##### 【特別賞】

独自技術や特筆すべきノウハウ、商品、サービス、ビジネスモデルなどがあり、今後の取組や成長などに大きな期待を持てるもの。その他、特別賞の授与にふさわしい特色を持つもの。

### 3 受賞者（敬称略）

計5者（富県宮城グランプリ：1者、部門賞：3者、特別賞：1者）

#### (1) 富県宮城グランプリ

受賞者（所在地）	評価のポイント
株式会社 ティ・ディ・シー （利府町）	産学連携により研磨加工技術を磨き、オンリーワン技術を確立している。その高い技術力は小惑星探査機「はやぶさ2」にも採用され、取引実績は国内外3,000社を超える。半導体、自動車、航空宇宙、医療機器等の世界最先端の産業に大きく貢献している。

## (2) 部門賞

### ①ものづくり産業振興部門賞

受賞者（所在地）	評価のポイント
工藤電機株式会社 （仙台市）	アナログ回路、フィードバック制御分野等において技術の研鑽を積み重ね、高度な最先端電源技術は世界最高水準と称されている。これらの技術による製品は青葉山に整備される次世代放射光施設など国内外の試験研究機関等に採用されているほか、近年では、加速器科学分野のみならず医療分野等でも幅広く活用されている。

### ②「みやぎの食」振興部門賞

受賞者（所在地）	評価のポイント
株式会社 ヒルズ （大河原町）	ブランド豚「和豚もちぶた」を生産する県内最大規模の養豚事業者。直売所やレストラン、温泉施設等の併設による相乗効果によって集客力を高め、生産から販売までの一貫経営により大規模養豚経営を安定的に発展させており、地域産業・観光を牽引している。

### ③地域産業革新部門賞

受賞者（所在地）	評価のポイント
株式会社 ラポールヘア・グループ （石巻市）	被災地の雇用創出、生活再建等の課題解決を図るために石巻市で創業し、宮城県を中心に23店舗の美容室を展開。子育て中の女性や働く意欲のある高齢女性に雇用の場を提供し、子育てや家庭との両立、生きがいづくりなど女性のエンパワーメントに貢献している。

## (3) 特別賞

受賞者（所在地）	評価のポイント
有限会社 オйкаワ デニム （気仙沼市）	「オリジナリティ」「メイド・イン・ジャパン」にこだわり、高い技術力に裏打ちされた高付加価値のデニム製品は、国内外で高い評価を得ている。また、廃棄されていた地元特産のメカジキの角（吻）を繊維化して製品化するなど新規性・独創性の高い製品作りを行っている。震災時は高台の工場を避難所として提供し、約150人が避難するなど、地域への貢献度も高い。

## 4 表彰式後の対応

表彰者の名称とともに、その取組を県ホームページ及び広報誌等で紹介する予定。